２０２６年度　関東高等学校ゴルフ選手権冬季大会・関信越地区予選
男子・個人の部／女子・個人の部

開　催　日 :2026 年 10 月 27 日(火)　　練習日:26 日(月)
開催コース:那須野ヶ原カントリークラブ

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。
ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「一般の罰(2 罰打)」となる。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 18.2)
   アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
2. ペナルティーエリア(規則 17)
   那須コース 8 番ホールグリーン左にあるペナルティーエリアの中に球がある場合(見つかっていない球がそのペナルティーエリアに止まったことが分かっている、または事実上確実である場合を含む)、プレーヤーには次の選択肢があり、それぞれ 1 罰打で:
   ・規則 17.1 に基づき救済を受ける。または、
   ・追加の選択肢として、元の球か別の球をドロップゾーンにドロップする。このドロップゾーンは規則 14.3 に基づく救済エリアである。
3. 異常なコース状態(動かせない障害物を含む)(規則 16)
   (a)修理地
   (1)青杭を立て、白線で囲まれた区域。
   (2)グリーンの前後を含み、フェアウェイの芝の長さかそれ以下の区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
   (b)動かせない障害物
   (1)排水溝
   (2)小砂利、ウッドチップ、松葉などを使用して舗装した区域。
   小砂利やウッドチップなどの個体はルースインペディメントである。
   (3)複数の動かせない障害物が接している場合、それらはひとつの動かせない障害物として扱われる。
   (4)動かせない障害物と白線でつながれている区域は、その動かせない障害物の一部として扱われる。
   (5)那須コース3番ホールのグリーン後方の保護フェンスに球が近接し、スタンスや意図するスイングの区域の妨げになる場合、プレーヤーは次のことができる。
   ・規則 16.1 に基づき罰なしの救済を受ける。または、
   ・追加の選択肢として、元の球か別の球をその球に最も近いドロップゾーンにドロップすることによって罰なしの救済を受ける。このドロップゾーンは規則 14.3 に基づく救済エリアである。
4. プレー禁止区域
   電磁誘導カート用の 2 本のレール(白線でつながれている区域を含む)は、全幅をもってプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則 16.1f に基づき、そのプレー禁止区域による障害からの罰なしの救済を受けなければならない。ただし、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。
5. 不可分な物
   以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。
   (a)樹木やその他の恒久的な物件に巻きつけたり、密着させてあるもの。
   (b)ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。
6. 46 インチを超える長さのクラブの使用禁止
   ストロークを行うとき、プレーヤーはパターを除き 46 インチの長さを超えるクラブを使ってはならない。
   このローカルルールに違反したクラブでストロークを行なったことに対する罰:失格。
7. クラブと球の規格
   (a)ストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。
   (b)ストロークを行うとき、プレーヤーは 2010 年1月 1 日に施行された用具規則の溝とパンチマークの仕様に適合するクラブを使わなければならない。

(c) ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。
このローカルルールの違反に対する罰:失格

8. ゴルフシューズ
ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない:
伝統的なスパイクーすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた 1 つあるいは複数の鋲を有するスパイク(メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない)。
このローカルルールの違反に対する罰:規則 4.3 参照

9. プレーの中断と再開(規則 5.7)
(a) 即時中断(落雷・Jアラート等、切迫した危険がある場合)
委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならず、委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。
このローカルルールの違反に対する罰:失格
即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。
(b) 通常の中断(日没やコースがプレー不能)
規則 5.7b、c、d に従って処置すること。
(c) プレーの中断と再開の合図
通常のプレー中断、険悪な気象状況による即時中断、プレーの再開はホーン及び競技委員会の指示による。

10. 練習
(a) ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。
(b) プレーヤーはラウンドとラウンドの間にコース上で練習してはならない。このローカルルールの違反に対する罰:
最初の違反の罰　　:一般の罰(プレーヤーの最初のホールに適用される)
2 回目の違反の罰　:失格

11. 移動
ラウンド中、プレーヤーは動力付きの移動機器に乗車してはならない。ただし、委員会が承認する場合や、事後承認した場合を除く。ストロークと距離の罰に基づいてプレーする(あるいはプレーした)プレーヤーは常に動力付きの移動機器に乗車して移動することが承認される。
このローカルルールの違反に対する罰:違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。 違反がプレーするホールとホールの間で起きた場合、罰は次のホールに適用される。

12. キャディー
プレーヤーはラウンド中キャディーを使用してはならない。
このローカルルールの違反に対する罰:違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。

競技の条件

1. 参加資格
プレーヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。

2. スコアカードの提出
スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

3. 競技終了時点
競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 今大会は手引き（手押し）カートを使用することができない。（動力機付きカートも使用しない）
2. 今大会では距離計測器を使用することができる。（2点間の距離のみ）
3. 「規則書」（JGA2019 年度版）は大会中携帯しなくてもよいが、「2023年度のルール改定内容」を事前に確認しておくこと。（連盟 HP 掲載）
   また、本競技規則（ローカルルール）は以前同様、事前に内容を確認し、持参すること。加えて、目土袋・スコップ・グリーンフォークは、競技開始から終了まで必ず携帯し、ディボット跡やピッチマークの修復に努めること。
   ※本競技規則・目土袋等を持参しない場合、規則1.2b を適用し、失格とする場合がある。
4. スコアカード提出前にコース内での携帯電話、スマホ等の使用は原則禁止とし、事故・体調不良など緊急時以外は電源を切っておくこと。ルールの確認（ルールアプリは使用しない）は、事前にルールを学習しておくことが望ましく、不明な点が生じた場合は 2 つの球をプレーし、同じ組の他のプレーヤーとも状況を確認共有し、ハーフチェック、アテスト時に競技委員長の判断を仰ぐこととする。（プレーヤーズ版ルールブック廃止に伴う経過処置）
5. 球がグリーン上にある場合、グリーンリーディング資料（ヤーデージブック、カートナビ等）の制限に違反した資料をプレーの線を読む支援として使用すると規則 4.3 の違反となる。
6. ローカルルール 8 項において規制されるシューズ以外でもグリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
7. プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合には「行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また、重大な非行があった場合には規則 1.2a および、20.2 に基づいて失格とする場合がある。
8. スタート前の練習については主催者の指示に従うこと。
9. 2024年4月1日に改訂された日本高等学校ゴルフ連盟のユニフォーム規定を、各自 HP で十分確認し、遵守すること。守れない場合は、大会参加を認めない。また、プレー中は着帽のこと。
10. 全使用球にフルネームと、通し番号を記入しておき、誤球や不正が行われないように努めること。
11. スコアカードには、毎ホール同じ組の他のプレーヤー全員のスコアも記入して、スコアミスが起きないよう留意すること。
12. 頭髪にパーマネント等を施している者、長髪の者、茶色に染めている者等は参加できない。また、ピアス、ブレスレット等の不要な装飾品等は身につけないこと。（磁器ネックレス等の健康器具を含む）守れない場合は、大会参加を認めないこともある。
13. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。各ホール毎、ティーイングエリアからその組全員で球の行方を確認し、紛失球や誤球のないように努めること。（タイムチェック制として、プレーの不当な遅延については罰を課すことがある。）また、グリーン上での「旗竿」の取り扱いはプレーヤー同士で協力をして行い、旗竿を挿したままプレーする際は、プレー中であることが後続組の視界に入るよう工夫するなど、打球事故防止に努めること。
14. プレーオフの準備等のため、ラウンド途中で競技委員が選手にスコアを訪ねる場合がある。

競技委員長

距離表　那須野ヶ原カントリークラブ（男子）　使用ティマーカーは、青色とする　使用グリーン：A

HOLE NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
YARDS	410	548	166	410	357	180	392	370	500	3333	
PAR	4	5	3	4	4	3	4	4	5	36	
HOLE NO	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
YARDS	382	181	361	494	401	193	339	549	404	3304	6637
PAR	4	3	4	4	4	3	4	5	4	35	71

距離表　那須野ヶ原カントリークラブ（女子）　使用ティマーカーは、白色とする　使用グリーン：A

HOLE NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
YARDS	360	505	140	389	329	162	339	351	466	3041	
PAR	4	5	3	4	4	3	4	4	5	36	
HOLE NO	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
YARDS	369	154	334	494	376	162	318	475	351	3033	6074
PAR	4	3	4	5	4	3	4	5	4	36	72